



会告

「第16回中部放射線医療技術学術大会開催のご挨拶」

第16回中部放射線医療技術学術大会 副大会長
(第58回日本放射線技術学会中部支部学術大会)

岐阜大学病院 廣田 真

この度、第16回中部放射線医療技術学術大会(CCRT)を12月7日(土)、8日(日)の2日間にて、岐阜市じゅうろくプラザにて開催する運びとなりました。このような機会を頂きましたことを、大変名誉なことと感じております。

CCRTは中部7県の診療放射線技術学を根幹とする日本放射線技術学会中部支部と診療放射線技師の団体である中日本地域診療放射線技師会が、合同で協力し合いながら開催する学術大会です。2008年に福井県から始まったCCRTも今回で16回目の開催となり、各県順番に開催されるため、岐阜県は3回目の開催となります。この間に様々なノウハウが蓄積され、大会運営の共通認識の醸成とともに双方の会員に対して有益な学術大会のかたちになりつつあります。さらに今年11月には日本診療放射線技師会(JART)と日本放射線技術学会(JSRT)との初めての合同開催となる第1回日本放射線医療技術学術大会(JCRTM)が沖縄県にて開催されます。中部においても本大会を通して、両団体の連携をさらに深め放射線技術学の発展に寄与できるよう努めて参ります。

今回の学術大会のテーマは、「技術の革新と叡智の伝承-放射線医療の新たな使命と展望-」と致しました。日々進歩し開発される新たな技術を探求し、そのポテンシャルを十分に発揮するとともに、これまで積み重ねられてきた叡智を融合させブラッシュアップを図りつつ、今後の様々な変化にも対応し放射線医療における役割を果たしていくことを目指した学術大会にしたいと考えています。病院勤務の方々は実感があるかもしれませんがタスクシフト/タスクシェアで職場環境が変化しつつあります。また、この数十年でアナログからデジタルへの移行及びAI技術導入により撮影条件や診療画像の変化を著しく感じます。参加される方々が情報共有と技術を継承することで放射線医療に携わる者の果たすべき役割について議論を深める場となることを期待しております。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

2024年8月13日

第 16 回中部放射線医療技術学術大会演題募集要項

●演題申込資格

発表者は、日本放射線技術学会正会員および学生会員、日本診療放射線技師会会員、中日本地域の技師会会員、診療放射線技師養成校の学生に限ります。非会員の方が発表される場合には、あらかじめいずれかの団体への会員登録が必要です。

入会申請中の方で会員番号が未定の方は、演者の会員番号欄に「9999」を入力してください。学会の会員番号が交付されましたら、本ページ下方の「確認修正」から修正登録をお願いいたします(締切後は大会事務局までメールにてご連絡ください)。

入会申請手続きはお早めをお願いします。

診療放射線技師養成校の学生が演題登録をされる場合は演者の会員番号欄のどちらにも「8888」を入力してください。

●募集期間

2024年7月15日(月・祝)～9月15日(日)

※現在のところ期間延長は予定しておりません。

●発表形式

口述発表のみ(一般演題:プレゼンテーション7分, 討論3分)

会場口述発表を基本とします。

発表スライドは、PowerPoint2013以上で作成してください。

スライドのサイズは16:9で作成してください。

オンデマンド配信のために音声付き動画スライドデータのご用意をお願いいたします。

動画の長さ:7分

動画のファイル名につきましては採択後にご連絡いたします。

音声付き動画スライドデータの保存形式はmp4に統一しますので、これ以外の動画形式で作成されないように十分ご注意ください。演題の採択通知後に、演題登録画面から動画スライドデータのアップロードが行えるようになります。

●演題区分

第16回中部放射線医療技術学術大会から演題募集の際の演題区分を下記の通りとさせていただきます。

1. 研究
2. 症例報告

・「1. 研究」において、「人を対象とした研究」については、倫理審査委員会の承認が必要となります。

・「1. 研究」において、JSRT が定める「技術研究」、JART が定める「技術報告」に該当する演題に関しては、倫理審査委員会の承認が不要となる場合があります。

・「2. 症例報告」とは、「他の医療従事者への情報共有を図るため、個別の症例についてまとめたもの」であり、研究目的でない医療の一環と見なせるもので、「研究」の演題区分とはせず、所属機関の長の承認を得たものとしします。

●研究倫理の確認（演題区分で「1. 研究」を選択した場合）

本大会における研究発表は、あらゆる場面において、研究対象者の生命、健康、プライバシーおよび尊厳が守られていなければなりません。そのため、演題応募時には「研究倫理に関する質問」に正しく回答していただく必要があります。

演題応募時は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を熟読のうえ、応募演題に必要な倫理的対応について理解し、必要に応じて倫理審査委員会で事前に承認を得てください。

特に研究対象者の臨床データ（画像データ、検査結果、診断名、個人情報を含む）を用いた研究では、ほとんどの場合において倫理承認が必要となりますので十分にご注意ください。また、アンケート調査や観察者実験においては、倫理承認の要否に関する検討が必要になりますので、対応に注意をお願いします。

研究対象者に対し、研究を目的とした侵襲的な行為（放射線被ばく、薬剤等の投与、および、肉体的・精神的苦痛を伴う行為）を伴う場合は、演題登録時に以下の3項目のそれぞれについて記載をお願いいたします。

- ① 医学的妥当性：医学の発展にとって、その研究が必要であることの妥当性
- ② 方法的特殊性：研究対象者に対する侵襲的な行為以外に選択肢がない
- ③ 正確なインフォームド・コンセントの取得：侵襲行為に関わる被ばく線量や生物学的影響等の正確なデータを提示した上で、研究対象者から得られたものに限る

●多重投稿について

本学術大会では、「両会が発行する印刷物および電子出版物について、既発表の論文、または他の学術雑誌に投稿中の論文と本質的に同じ論文を投稿する行為」を多重投稿と定義しており、投稿された論文と同一の著者または少なくとも1名の著者が同じで、内容が同一または極めて類似した内容の論文が既に発表されている場合には、本質的に同じ論文と見

なします。そして、既発表の論文または他学術大会での既発表を、両学の学術大会等へ演題応募する場合も多重投稿と見なします。

ただし、特例として多重投稿と見なされる場合であっても有益な情報が含まれている等、審査において認められる場合は、その事実を演題応募時および発表時に申告した場合においては、許容される多重投稿として取り扱います。

なお、両会は多重投稿を推奨するものではなく、安易な多重投稿は業績の水増しになることに留意してください。

●利益相反

研究者や研究内容の中立性を担保し、研究結果が特定の企業や個人の利益を生まないことを証明するものです。主に企業からの支援や協力があった場合は「あり」を選択してください。(科研費や公的機関の助成金等は対象となりません)

大会当日の発表スライドには、タイトルスライドの次に利益相反の有無を記載したスライドを追加してください。利益相反が「あり」の場合は、そのスライドに詳細を記載してください。

●演題登録の方法

本学術大会の演題登録システムは、UMIN のシステムを使用しています。本システムは、Firefox、Google Chrome、Microsoft Edge、Safari 以外のブラウザでは演題登録できません。(各ブラウザは、最新バージョンの使用を前提としております。)

原則として暗号通信をご利用ください。平文通信では危険です。第三者があなたのパスワードを盗聴して、演題・抄録を無断削除したり、改竄したりする可能性があります。特に病院情報システムや電子メール用に使っているパスワードを、平文通信で演題登録用に使用することは絶対に止めてください。被害が演題・抄録以外にも及びます。平文通信は、暗号通信が使えない場合(施設やプロバイダーの設定に問題があるか、ブラウザが古い)に限ってご利用ください。

登録した演題の確認、修正、削除には登録完了後に画面上に表示される登録番号とパスワードが必要です。登録番号と入力したパスワードは必ず保管しておいて下さい。

オンライン演題登録した後は、確実に登録されているか、登録番号とパスワードで必ずご確認をお願いします(登録番号とパスワードで確認を行って、登録されていれば、確実な確認になります)。

発表抄録は、400 字以内です。図表は使用せず、【目的】・【方法】・【結果】・【考察】の項目ごとに、わかりやすく記述して下さい。

オンライン演題登録に関する FAQ は

<https://center9.umin.ac.jp/FAQ/endai/toukou/> をご覧ください。

●演題審査，発表日時について

以下のような場合は応募演題が不採択となりますので，ご注意ください。

1. 倫理規程に反している場合
2. 抄録に【目的】【方法】【結果】【考察】の見出しと内容が含まれていない場合
3. 抄録の内容が審査員に解読できない場合
4. 新規性が極めて低い場合
5. 多重投稿と見なされる場合

応募演題の採否、発表日時の決定は、演題審査委員会を経て大会長に一任させていただきます。

最新の情報は下記の大会ホームページを確認していただきますよう、よろしくお願いいたします。

大会ホームページ

<https://gifuart.org/ccrt2024/>

第 16 回中部放射線医療技術学術大会事務局

16thccrt.2024@gmail.com

今後の技術セミナー開催情報

CT研究会

CT technical boot camp 2024【北陸】

日 程：2024年9月7日（土）～8日（日）

場 所：金大病院 CPD センター（金沢大学附属病院外来診療棟 4階）

定 員：40名

テーマ：Dual Energy CT master program

定例会【北陸】

日 程：2025年11月23日（土）

場 所：石川県立中央病院

テーマ：CT 検査における被ばくの最適化を考える

CT 関連論文の抄読会【東海】

日 程：2025年1月頃

場 所：Web もしくは愛知県

詳細は未定です。HP で追ってお知らせいたします。

MR 研究会

第84回 MR 研究会

日 程：2025年1月18日（土）14時から

場 所：富山市 富山県立中央病院

テーマ：骨盤領域の MR 検査

第85回 MR 研究会

日 程：2025年1月頃

場 所：名古屋市

詳細は未定です。HP で追ってお知らせいたします。

画像研究会

第 71 回画像研究会

日 程：2024 年 9 月 28 日（土）

場 所：名古屋市

テーマ：初歩の画像処理②、最新画像処理の画質評価

詳細は HP で追ってお知らせいたします。

第 72 回画像研究会

日 程：2024 年 11 月 23 日（土）

場 所：金沢市

テーマ：初歩の画像処理②、最新画像処理の画質評価

詳細は HP で追ってお知らせいたします。

医療情報 システム研究会

2024 年度第 2 回研究会

日 程：2025 年 1 月

場 所：ハイブリッド開催

詳細は HP で追ってお知らせいたします。

乳房画像 研究会

第 60 回乳房画像研究会

日 程：2024 年 9 月

場 所：愛知県

詳細は未定です。HP で追ってお知らせいたします。

第 61 回乳房画像研究会

日 程：2025 年 2 月

場 所：石川県

詳細は未定です。HP で追ってお知らせいたします。

放射線防護 研究会

第 50 回中部支部放射線防護セミナー

日 程：2024 年 9 月 3 日（火）19 時

場 所：Web 開催

テーマ：診断透視の線量計測について学ぶ

放射線治療 研究会

愛知県放射線治療研究会

日 程：2024 年 12 月 15 日（日）

場 所：Web 開催

詳細は未定です。HP で追ってお知らせいたします。

2024 年度 JSRT 中部支部放射線治療研究会 Web セミナー（7 県合同）

日 程：2025 年 1 月 18 日（土）

場 所：Web 開催

詳細は未定です。HP で追ってお知らせいたします。

アンギオ研究会

アンギオ研究会

日 程：2024 年 12 月頃

場 所：未定

詳細は未定です。HP で追ってお知らせいたします。

超音波画像 研究会

2024 年度第 1 回中部超音波検査フォーラム

日 程：2024 年 9 月 7 日（土）

場 所：未定

詳細は未定です。HP で追ってお知らせいたします。

核医学研究会

2024 年度第 2 回中部核医学セミナー

日 程：2024 年 11 月 17 日（日）

場 所：Web 開催

テーマ：自施設の SPECT・収集処理条件を見直そう ～心臓編～

★セミナーに参加される際のお願い★

ようやく対面開催のセミナーが増えてまいりましたが、引き続きオンライン方式も併用しての開催となります。

Web 参加においては以下の点をご注意ください。

- ・申し込みの際は”RacNe”からの事前参加登録が必要となります。
- ・セミナー受講者は申込者本人に限定します。申し込み者以外に URL、ログイン ID、パスワードを共有しないでください。
- ・受講は 1 人 1 台のデバイス（機器）で参加ください。途中で他のデバイスに切り替えた場合、出席ログの追跡ができない場合があります。また参加途中で入退室を繰り返した場合も同様に出席ログが正常に記録されず、出席証明書が発行できない恐れがあります。
- ・必ず申し込み登録を行った氏名、メールアドレスでログインをして下さい。
- ・出席証明等を発行するために、出席ログの採取および専門技師等のポイントが付与される講習会については、認定機構等の関連団体に登録者情報を提供します。
- ・録画、録音、画面の撮影等は禁止します。
- ・動画や音声等すべての知的所有権は、講演者及びその所属先、主催者に帰属します。

私的利用など一定の範囲以外の目的で著作権者などの許諾を得ずに複製、公衆送信などの行為を行うことは著作権法などの法律により著作権侵害や著作隣接権侵害などの違法行為となります。違反行為は見つけ次第、厳正に対応致します。

皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

2024 年度中部支部セミナー
CT technical boot camp 2024 のご案内

中部支部

本セミナーは日本放射線技術学会中部支部と日本 CT 技術学会 (JSCT) の相互後援により、過去 2 回開催し dual energy 技術の本質を学べるセミナーとして参加者より高いご評価をいただきました。

そこで、今年度も同じく「Dual Energy CT master program」をテーマとし、dual energy CT に対して概念的な理解しかなされていない現状をもう一度基本から見直し、専門家による基礎講義や画像解析ハンズオン、クリニカルリーダーによる臨床応用講義およびワークステーションを用いたハンズオンと 2 日間を通して dual energy CT の本質的な理解を目指します。本プログラムはようやく日本でも稼働開始した photon-counting CT に対する理解を深める意味でも大変有意義な講習会です。

Dual energy CT を一から学びたい方は是非 2 日間参加いただくことをお勧めいたします。臨床応用のみ学びたい方は 2 日目のみの参加も可能です。それぞれで申し込み方法および参加費が異なりますので下記要項を十分お読みの上、お申し込みください。多くのご参加をお待ちしています。

日 時：2024 年 9 月 7 日 (土) 12:00~17:00 (JSCT 主催・JSRT 後援)
8 日 (日) 9:30~12:00 (JSRT 主催・JSCT 後援)

会 場：金大病院 CPD センター
石川県金沢市宝町 13-1 金沢大学附属病院外来診療棟 4 階
<https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/cpd/>

募集人数：40 名 (事前登録制。応募多数の場合は先着順とさせていただきます)

参加費：会員種別と参加日により異なりますのでご注意ください

- ① 2 日間参加で JSRT/JSCT 共に会員 6,000 円
 - ② 2 日間参加で JSRT 非会員/JSCT 会員 8,000 円
 - ③ 2 日目のみ参加 (JSCT 非会員可) JSRT 会員 2,000 円, 非会員 4,000 円
- 注) 1 日目のみの参加は受け付けません
注) 2 日間参加は JSCT 会員であることが必須です

応募方法：RacNe よりお申し込みください。申し込みフォームは“2 日間参加用”と“9/8 のみ参加用”がありますのでご注意ください。2 日間参加の方で JSCT 非会員の方は後日メールにてお問合せさせていただきます。

宿 泊：宿泊は斡旋いたしません。各自で予約の上ご参加ください

募集期間：2024 年 7 月 20 日 (土) より定員に達するまで

*X 線 CT 認定技師 8 ポイント (2 日間参加) ならびに肺がん CT 検診認定技師 5 ポイントが付与されます

プログラム：【1 日目】 Technical basics (JSCT 企画)

1. 「CT 値と X 線エネルギー」

2. 「DECT の基礎・Photon-counting CT の基礎」
3. 「DECT hands-on (DECT の画像形成演習)」
4. 「DECT の画質評価」

【2 日目】 Clinical applications & Work station hands-on (JSRT 企画)

1. 「DECT の臨床応用 (Photon-counting CT の臨床応用も含めて)」
2. 「Work station を用いた臨床応用 hands-on」
(普段メインで使用している WS をさらに使いこなすテクニックを学べ
ます。後日、普段ご使用の WS をお伺いします)
3. 「総合討論」

問合せ先：金沢大学附属病院 放射線部 高田 忠徳
t-takata@med.kanazawa-u.ac.jp TEL 076-265-2012 (直通)

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部 ビーム中部 2024年 第1号

2024年8月16日発行

発行者：支部長 大橋 一也

編集：副支部長 高田 忠徳

理事 山田 薫, 西本 卓矢, 野村 孝之

事務局：〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

藤田医科大学病院 放射線部内

TEL: 0562-93-2111

jsrtchubu-office@umin.org

URL <https://jsrt-chubu.org/index.cgi>